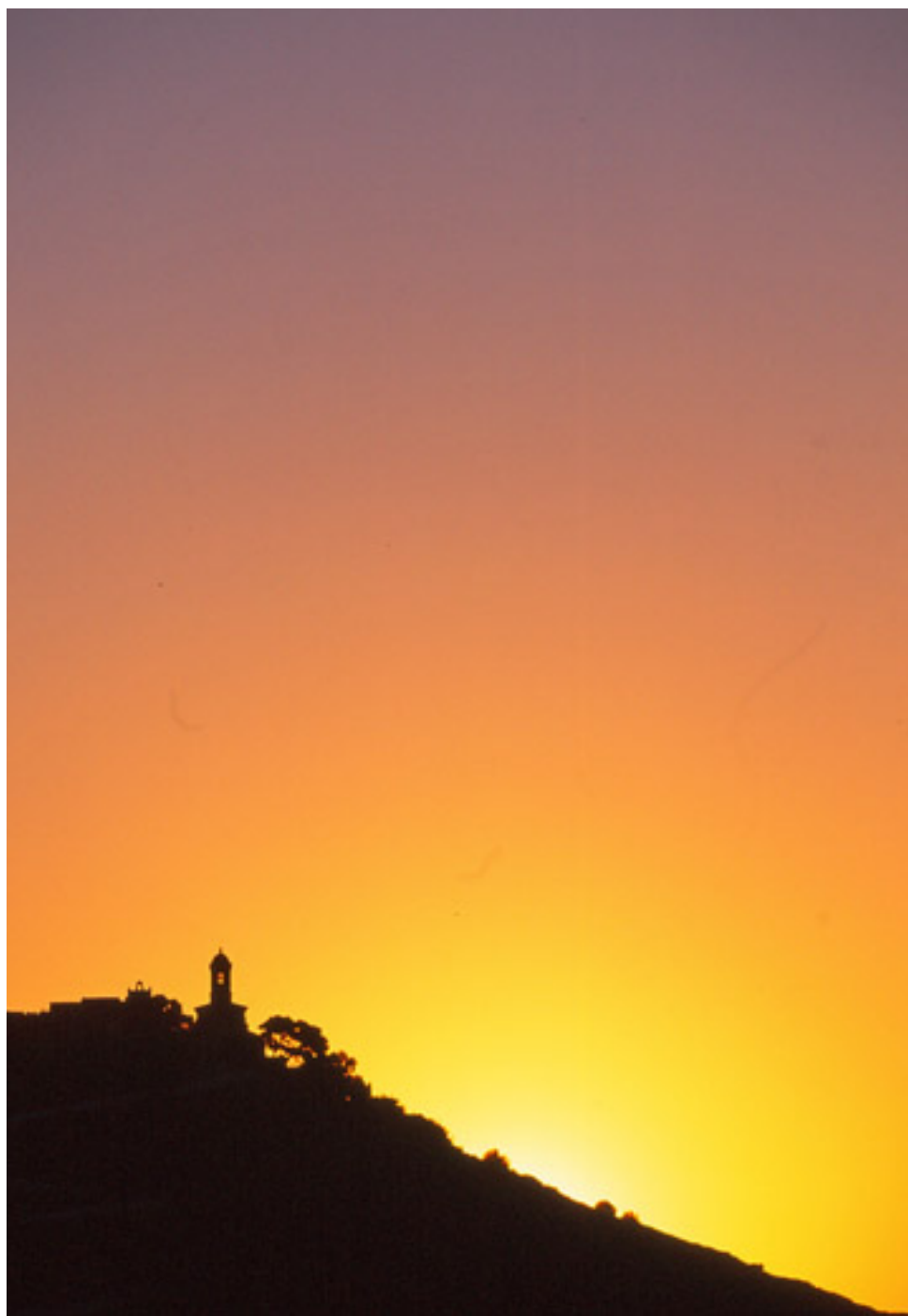


迎古夢旅 4573 : ポルト・ヴィアナ・ド・カステロ P112



ヴィアナ・ド・カステロは、ポルトガル北部を流れる**リマ川**の河口にあり、ポルトの北約70キロメートルに位置する、別名を、「リマの女王」とも呼ばれるらしい。上記の山は、多分、サンタ・ルジア山。山頂には、教会やポサーダがある。私が訪ねたのは、7月中旬。残念ながら、ロマリア祭（民族舞踏）を見る機会はなかったが、この地へは、眼下の光景を見たく、山頂へは、その都度、複数回訪ねている。

リマ川のほとりの、ヨットクラブでの思い出。勿論、宿泊もしている。クルーの練習風景。いろいろエピソードや画像記録。このあと、ポルトガルの国境を越えて、**巡礼の道の起点、スペイン・サンティアゴ・デ・コンポステーラを目指した時**である。

ポルトガル。南や東、大西洋の海は好きだが、ポルトガル北部は相性が合う。山頂でも、宿泊した宿でも、いろいろエピソードがあるが、その話は、別の機会にゆずって。

～～ 日誌には ～～

- ポルトガル北部は、比較的、印象が良く、出会った人たちも親切だった。日本から持参した、久楽のポストカードを、配慮や親切心に対して、お礼の意味で・・・
- ひとり旅が、長期と言っても2ヶ月余。しかし、人間修行というか、ひとり旅は有益。
- 松尾芭蕉が、東北を一人旅と言いながら、弟子曾良同伴、友人宅を訪ねたと聞いている。
- 当時には、当時の苦勞があり、外国での道との出会いには、それなりの苦勞もある。
- 今、旅を続けていられる自分は大変幸せだと思う。再チェックして、頑張りたい。

- コンポステーラは、イエスキリストの、12使徒の聖ヤコブ（サンティアゴ）の墓が、9世紀初頭発見。エルサレム、ローマのバチカン、と並ぶ三大聖地。
- 1985年、ユネスコの世界遺産に登録。巡礼の道は、約800キロで、ルートは、いくつも
- ポルトガル・リスボンから、サンティアゴをスタートに海岸線を東へ。レンタカーの2週間後の返却もあり、前々日、レンタカーの故障、言葉の壁もあって苦戦
- ポルトガル・シャベスから、この地への移動。シャベスから、プラガまでのコースは峡谷美観も天候もまずまず。草花が美しく、何度も停車して画像記録。
- 気のやすらぐ光景に接し、気持ちの余裕ができ、既視感のある、この夕景に出会った。

その他思いつくままに、箇条書き記録。ヴィアナ・ド・カステロ・夕景画像記録から話が、大幅に脱線。ご容赦。旅模様を知っていただくことで、たかが、ワンショット、一枚の画像だが、前後左右、奥行き、想像も一興かと。